

町会ニュース

第19号

平成24年12月1日
(発行)
箕土路町会



巨大地震に備えて

阪神・淡路震災からの教訓

**演題「災害への最善の備え」
自助(個人・家庭)、共助(地域社会)**

11月25日(日)午後2時より町会館にて、防災アドバイザー杉原利典氏(大阪市危機管理室勤務)を講師に招き「災害への最善の備え」についての講演会を開催しました。

17年前阪神淡路大震災・昨年は東北大震災と巨大地震の発生が日本中を震撼させました。我々の居住する泉州地域においても、和歌山沖の愛知県から四国までの広範囲に南海大地震が今後30年以内に非常に高い確率での発生が予想されています。

今回、自らの体験や現地調査での具体的なデータを元にした講演の内容を参考に、今後の箕土路町の自主防災組織のあり方を町内の皆様と共に進めて参りたい



震災への備えについて熱心に聞く

と思います。積極的なご理解とご協力よろしくお願ひします。

木北」のゼッケンを胸に「校区対抗競技」に参加しました。秋晴れの下、参加者全員が気持ちのいい汗を流しました。イベントの準備と運営に多くのご苦勞をいただきました子供会役員の皆様に感謝とお礼申し上げます。



子供会
「市民スポーツカーニバル」で汗流す



11月3日、中央公園で「第32回市民スポーツカーニバル」が開催されました。市内24校区から多くの市民が参加。箕土路町子供会の会員・保護者も「八

街角散歩

青少年指導員 (通称赤シャツ)の紹介

現在、町会からの推薦により、岸和田市長から委嘱を受けて活動しています。

箕土路町からは島田政実さん三宅良幸さん、土井健司さん、西川孝人さん、

塚本俊行さんの5名が2期4年サイクル(1期2年)で活動されています。目的は、『各小学校区青少年指導員相互の連絡協調を図り、また青少年指導に関する諸問題の研究協議を行い、もって地域における青少年健全育成活動を円滑かつ、効果的に推進すること。』となっております。

活動は、月1回の定例会及び会議の後のパトロール。年間行事は、久米田池の清掃・市民フェスティバルでの餅つき・花火大会、盆踊り、祭りのパト

★地道な青少年指導員の方々のご苦勞に改めて感謝致します。



きめ細やかな 婦人会の町会館清掃

婦人会では、毎月一回、九時から町会館の清掃活動を実施されています。多数の町会団体が気持ちよく利用出来る様にと、床や廊下・玄関ホール・トイレ等を隅々まで。何時も丁寧で綺麗な清掃有難うございます。



隅々は雑巾で。床・玄関ホール、トイレ清掃にも熱がこもる

12・1月の 主な行事予定

12月

- 9日(日)第9回評議員会
- 16日(日)町会館年末大掃除
- 27日(木)~30日(日)青年団の夜警

1月

- 13日(日)第10回評議員会